

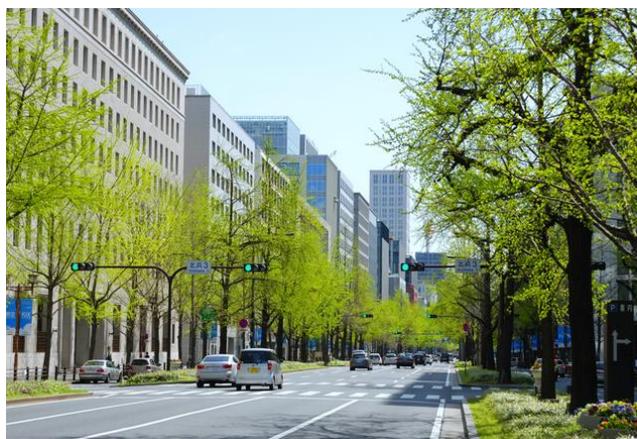
---

# ライフ・キャリア支援プログラム

50代からの働き方と組織貢献を考える

---

## Fifties Career Workshop



経営者のための人材活性化  
プログラムを使った人事戦略



### Office Life & Work

人材育成、組織活性化のためのコンサルティング

[http : //www.office-lifework.com/](http://www.office-lifework.com/)

e-mail : [career@office-work.com](mailto:career@office-work.com)

Tel :090-8522-8490



# はじめに

企業にとって定年年齢が60歳から65歳、さらに70歳までの雇用努力義務が現実問題となっています。そもそも、現在のシニア層は、昭和のロールモデルである「定年までがむしゃらに働いたら、後はのんびり働く」から脱却できていません。本人自身も苦しんでいる部分もあります。しかし、シニア自身は、年齢に関係なく働けるうちは働きたいという意識変化はすでに起きています。

現場での問題も発生しています。シニア層が、モチベーションの低下で働かない状況で、組織の停滞や若手社員の意欲を削いでしまいかねません。

このような状況の防止、改善に取り組むためにも、シニア層への支援策の導入が必要と考えます。

## 現状のまとめ

### 現在のシニアの課題

キャリア転換がうまく行えず、生き活きと働けないシニア人材が多数在籍している。  
シニア人材を十分に戦力化できていない企業・組織がある。

### 原因

これまで日々の業務に追われ、自分自身を振り返る機会がなかった。  
これまで将来のことをあまり考えてこなかった。  
役職定年や他律的な理由でキャリアチェンジすることは受け止めているが、今後どうして行けばよいか分からない。  
再雇用で継続して働きたいが、自分の居場所がなくなることに不安を感じている。  
自分を取り巻く環境変化について、認識できていない。

### 目標

シニア人材をモチベーションが高いキャリア人材に変え戦力化すること。

### 対応策

役職定年、定年を迎える前にキャリア開発（能力開発）が必須であると考えます。  
シニア期の働き方を考え、自己変容を促す研修プログラムを提供いたします。

## ：ライフ・キャリア支援プログラム

# ライフ・キャリア支援プログラムの特長

座学ではなく、ワークショップが中心のプログラム内容

## ■ 個人の能力開発が目的

「シニアになってからの働き方など考えたことがない」

「将来の働き方に漠然とした不安がある」

「自分の能力が将来も活かせていけるのかが見通せない」

将来の働き方を考えてこなかった、ぼんやり考えても見つけれない方々へのこれまでのキャリアを見直し、シニアになっても必要とされる存在へとなるために何が求められるかを考え、学ぶためのプログラムです。

参加者が行うワークショップで自分の強みや働くための価値観に気づき、生き活きと働き続けるシニアの実現に向けての行動変容をめざします。

## ■ 受講者はミドル層

40代後半から50代前半を想定しています。役職定年、定年間近からの準備では間に合わないと考えています。組織での仕事や職務だけではなく、働きがいを感じてのライフワークを含めた充実感を感じるライフキャリアを考えます。定年以降などに仕事上の役割が変わっても働き続けようとお考えの40代後半以降の方を想定しています。このため、将来も社内で求められる仕事の役割が変わらないといったキャリア・シフトチェンジを必要とされない方には必ずしも受講をいただく必要はありません。

## ■ 無理なく取り組めるプログラム

これまで将来の働き方を考えてこなかった受講者の方に合わせたプログラム内容で、1日間（想定6時間）で、座学だけではなく、個人ワークとグループワークを中心に進行して、主体的に取り組んでいただけます。

## ■ 標準内容と独自オプションを組み合わせが可能

事前相談が前提ですので、標準内容に貴社の制度の説明などの追加やキャリアコンサルタントによる個別相談、定期継続の実施が可能です。

## ■ リスキリングについての支援も可能

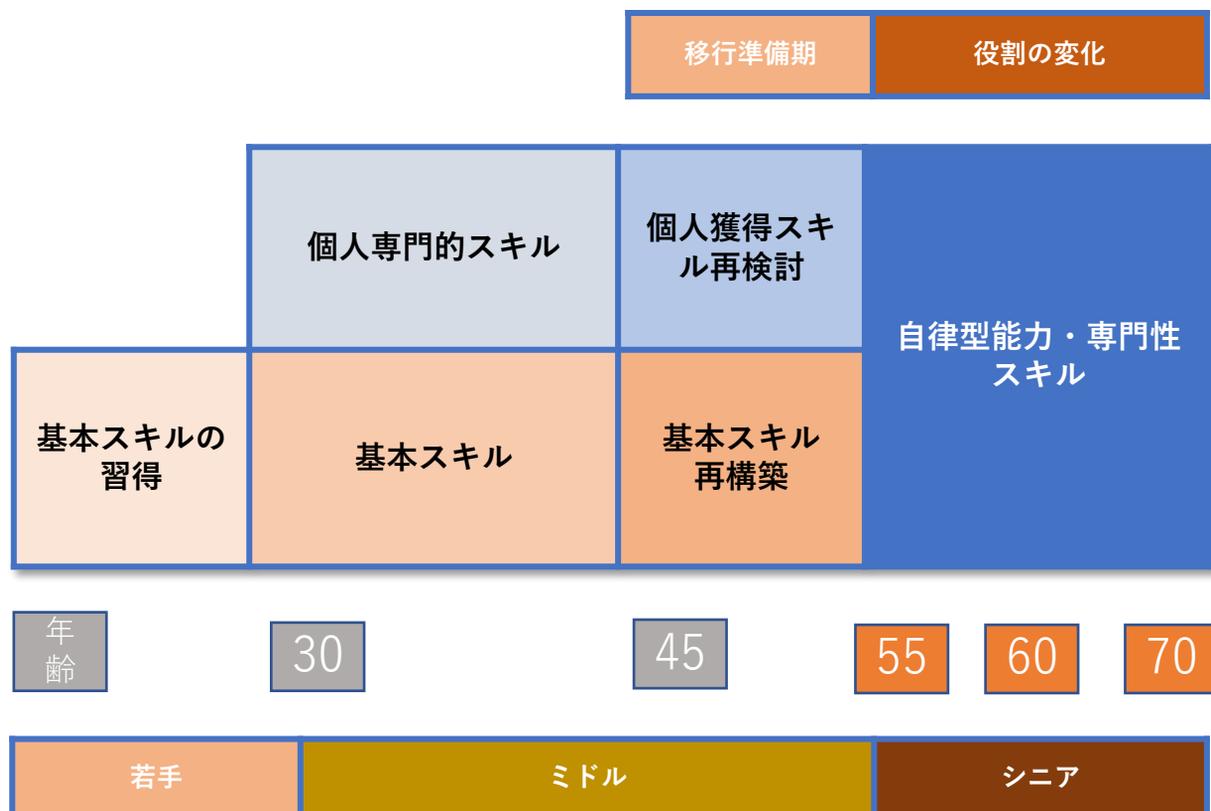
今後の働き方や方向性が明確になれば、それに向けたビジネススキルの課題があれば、リスキリングが必要と考える方には、キャリアコンサルティングでのリスキリング選択支援も可能です。

## ■ 全体報告書とフォローアップ

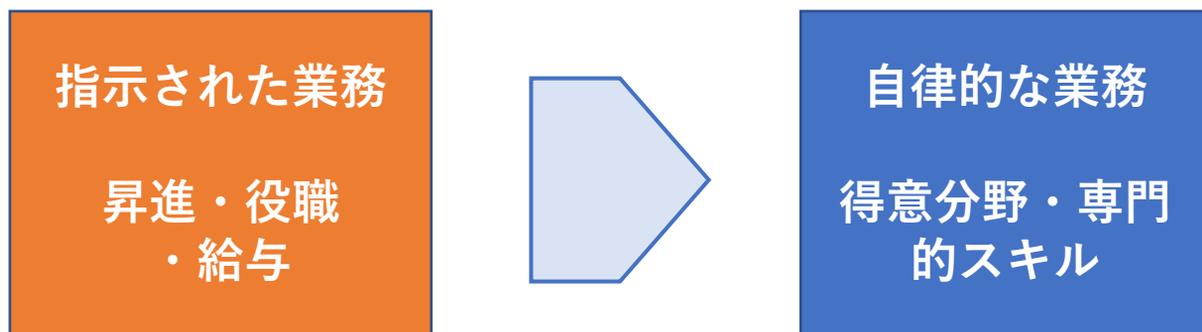
キャリアコンサルティング（#オプション）実施内容に基づいた全体報告書を作成致します。プログラム終了後、人事部の方々との意見交換などを実施致します。

： ライフ・キャリア支援プログラム

# ライフ・キャリア時系列イメージ図



## 役割と価値観の変化



：ライフ・キャリア支援プログラム

# ライフ・キャリア支援プログラム

事前課題	「ライフ・キャリアシート」の作成 幅広い観念からの自己理解を深める。これからのライフ・キャリアプランを考えてもらいます。 「環境変化を考えるシート」の作成 視野を広げながら環境変化を具体的に考えること
<b>PART1</b> *グループワーク	■オリエンテーション ①ワークショップの概要と進め方を説明する ②自己紹介と環境変化シート（相手紹介・一番関心のある事）
<b>PART 2</b>	■定年後の時間の長さとして70歳雇用延長「高年齢者雇用機会安定法」（2021年）の説明 ライフ・キャリアの考え方
<b>PART 2－①</b> 自己の振り返り *個人ワーク	■ライフ・キャリアシートを使って（強みとポータブルスキルを見つける） ①過去の実績、成果で鍛えられたこと ②達成感や充実感は何だったでしょう ・ポータブルスキル（成果、達成の抽象化） * 自己の振り返り
<b>PART 2－②</b> 自己理解 *個人ワーク	■大切にしている価値観、興味、関心を持っていること ①やりがいを感じた仕事、おもしろいと思ってできた仕事 ②プライベートで好きなこと。他のコミュニティでの活動 ・CAN・WILL・MUST（Self Concept） * 自己理解

：ライフ・キャリア支援プログラム

<b>PART 3</b> <b>キャリアビジョン</b> <b>* グループワーク</b>	<b>■</b> これからの働き方（希望や理想） 価値観の強制的な変化を求められている ・ 社会の変化と求められていること
<b>PART 4</b> <b>キャリアビジョン</b>	<b>■</b> 人生100年時代のライフ・キャリア戦略 ・ ポータブルスキルの明確化 ・ リスキリングの活用
<b>まとめ</b> <b>振り返り</b> <b>* 個人ワーク</b>	<b>■</b> ライフ・キャリアシートの完成 ライフ・キャリア後半戦は何で勝負するのか ・ アクションプラン作成
<b>* オプション</b> <b>キャリアコンサルティング</b>	<b>■</b> キャリアコンサルタントによる1on1面談 キャリアビジョンからキャリアアクションプランへ 実施報告書
<b>報告</b> <b>人事部</b>	<b>■</b> 中高年社員の戦力化方策

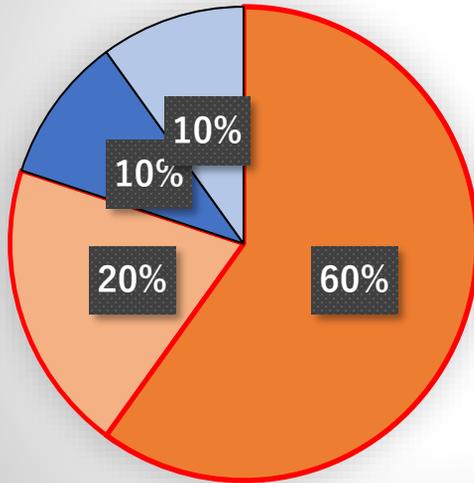
**個人**：シニア期の働き方を考え、自己変容を促す研修プログラムです

**組織**：シニア人材をモチベーションが高いキャリア人材に変え戦力化すること

：ライフ・キャリア支援プログラム

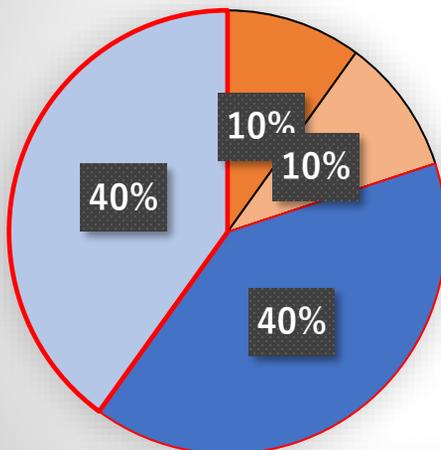
# 仕事に対する価値観の変化

## 仕事に対する価値観（ミドル）



- 昇進・役職
- 給与
- 働き方・やりがい
- 得意分野・専門的スキル

## 仕事に対する価値観（シニア）



- 昇進・役職
- 給与
- 働き方・やりがい
- 得意分野・専門的スキル

リクルートワークス研究所：定年を境に仕事の価値観は変化するかより作成

：ライフ・キャリア支援プログラム

# 仕事に対する価値観の変化のための リスキリングの活用

## 学びの選択

- セミナー・イベント（学び系ポータルサイト）
- 資格
- 専門的講座・大学

## 社内制度

- 自主的OFF-JTの評価
- 教育支援会社の導入

## 教育訓練給付制度の活用

- 専門実践教育訓練給付金
- 特定一般教育訓練
- 一般教育訓練

## 人材開発支援助成金

- 高度デジタル人材訓練/成長分野人材訓練
- IT分野 未経験
- サブスクリプション
- 自発的能力開発
- 教育訓練休暇

：ライフ・キャリア支援プログラム

# 国からの教育訓練給付制度

<p><b>輸送・機械運転関係の資格や講座</b></p> <p>大型自動車第一種・第二種免許          中型自動車第一種・第二種免許          大型特殊自動車免許          準中型自動車第一種免許          普通自動車第二種免許、けん引免許          玉掛け・フォークリフト運転・高所作業車運転・          小型特殊式クレーン運転・床上作業式クレーン運転・          車両系建設機械運転技能講習          移動式クレーン運転士免許          クレーン・デリック運転士免許</p>	<p><b>事務関係の資格や講座</b></p> <p>実用英語技能検定、TOEIC、TOEFL          中国語検定試験、HSK漢語水平考試          日本語教育能力検定試験  <small>※国語検定試験は「スピーキング」科目は上級に限られる。</small>          建設業経理検定          簿記検定試験（日商簿記）</p>	<p><b>技術・農業関係の資格や講座</b></p> <p>土木施工管理技士、管工事施工管理技士          建築施工管理技術検定          自動車整備士、電気主任技術者試験          測量士補</p>
<p><b>情報関係の資格や講座</b></p> <p>Webクリエイター能力認定試験          Microsoft Office Specialist 2010、2013、2016          CAD利用技術者試験、建築CAD検定          Photoshopクリエイター能力認定試験          Illustratorクリエイター能力認定試験          VBAエキスパート          Oracle認定資格・LPICなどでITSSレベル1の資格          Oracle認定資格・LPICなどでITSSレベル2の資格          シスコ技術者認定などでITSSレベル3以上の資格          第四次産業革命スキル習得講座  <small>（新技術・システム（クラウド、IoT、AI、データサイエンス）、          高度技術（ネットワーク、セキュリティ）など）</small></p>	<p><b>医療・社会福祉・保健衛生関係の資格や講座</b></p> <p>同行援護従事者研修          介護職員初任者研修          介護支援専門員実務研修等          特定行為研修、喀痰吸引等研修          福祉用具専門相談員、登録販売者試験          看護師、准看護師、助産師、保健師          介護福祉士（実務者養成研修含む）          美容師、理容師、保育士、栄養士          歯科技術士、歯科技工士、社会福祉士          柔道整復師、精神保健福祉士          はり師、あん摩マッサージ指圧師          臨床工学技士、言語聴覚士          理学療法士、作業療法士、視覚訓練士</p>	<p><b>その他、大学・専門学校等の講座</b></p> <p>修士・博士、科目等履修          履修証明プログラム          職業実践専門課程（商業実務、文化、工業、衛生、動物、情報、デザイン、自動車整備、土木・建築、スポーツ、旅行、服飾・家政、医療、経理・簿記、電気・電子、ビジネス、社会福祉、農業など）          専門職学位課程（ビジネスMGT、教職大学院、法科大学院など）          職業実践力育成プログラム（保健、社会科学、工学領域）</p>
<p><b>専門的サービス関係の資格や講座</b></p> <p>中小企業診断士、司書・司書補          社会保険労務士、税理士          行政書士、司法書士、弁理士、通関士          ファイナンシャルプランニング技能検定          キャリアコンサルタント</p>	<p><b>営業・販売関係の資格や講座</b></p> <p>インテリアコーディネーター          宅地建物取引士資格試験          調理師</p>	<p><b>緑の文字の資格や講座</b>          費用 <b>20%</b>  <small>（上限年間10万円）</small> 支援</p> <p><b>青の文字の資格や講座</b>          費用 <b>40%</b>  <small>（上限年間20万円）</small> 支援</p> <p><b>赤の文字の資格や講座</b>          費用最大 <b>70%</b>  <small>（最大224万円）</small> 支援</p>
<p><b>製造関係の資格や講座</b></p> <p>製菓衛生師</p>		

\* 厚生労働省：教育訓練給付制度から

## 教育訓練給付制度

厚生労働大臣指定教育訓練講座

---

### 検索システム



\* 厚生労働省：教育訓練給付制度から

## ：ライフ・キャリア支援プログラム



# 最後に

中高年社員の方にライフ・キャリアシートを中心にワークショップを通じてこれから働き方を考えていただくプログラムになっています。

今後のキャリアプラン（未来予想図）の大枠や方向性が明確に見えてきたと、考えるに至った方もいらっしゃるでしょうし、イメージは浮かんではいるが、まだぼんやりとっていて、迷いや自分ごとにできていない方もいらっしゃるのではないかと考えます。

このプログラムは、長い職業生活を含めたライフ（人生）キャリア（職務）を考えていただくきっかけでしかありません。このプログラム研修をスポーツのハーフタイム（作戦会議）であり、キャリアの節目（トランジション）と捉えて頂きたいと思います。

これから始まる後半戦（シニア）のライフ・キャリアをより充実した期間になるように継続して意識して頂き、より良いキャリアプランを計画し、実現して頂きたい考えます。